

## 行財政の効率的運用等

- 職員研修費 229万円  
職務遂行に要する専門的知識や技術を習得させるため、職員研修を行います。
- 広報広聴費 1,383万円  
行政に対する市民の理解と協力を得るとともに、幅広い市民の声を行政に反映させ、市民参加の行政を推進します。
- 行政評価制度導入推進費 27万円  
行政の効率性、公正の確保と透明性の向上などを目的に、市独自の行政評価システムを作り上げていきます。
- 情報化推進費 4,639万円  
住民情報ネットワークや庁内LANなどの運用を行います。



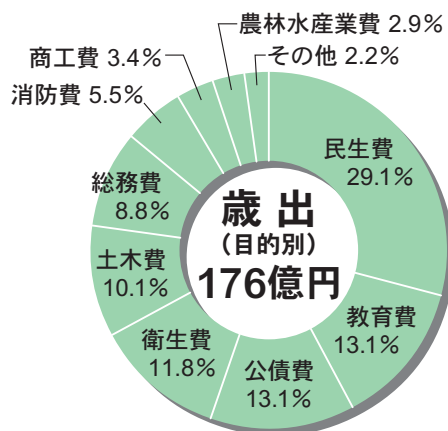
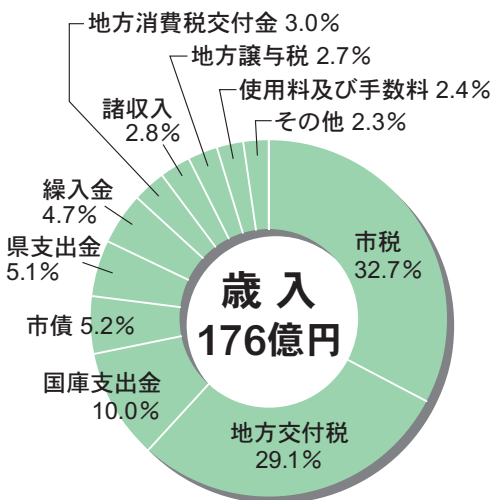
## たくましく躍動する産業と交流のまちをめざして

### たくましい産業のまちづくり

- “あなたと地域の農業夢プラン” 応援事業費補助金 2,704万円
- 農産物販路拡大対策事業費 63万円  
能代産農産物の販路拡大等を目指し、銀河連邦共和国の相模原市などでの販売やPR活動に対し支援します。
- 農業技術センター費 3,274万円
- 中小企業等融資対策費 3億888万円  
中小企業などの資金調達が円滑に行われるよう、金融機関への預託や保証料などの助成を行います。

### 躍動する交流のまちづくり

- 観光宣伝費 733万円  
首都圏などでのPR活動や観光リーフレットを作成するほか、「体験観光」や「修学旅行」の受け入れ体制の確立を図ります。
- 風の松原案内所設置事業費 106万円  
サン・ウッド内に案内所を設置します。
- 能代PR大使事業費 113万円



17年度の一般会計当初予算総額は、前年度当初予算に比べ、18億3600万円減の176億3300万円。前年度比9.4%の大幅減となりました（借換債を除いた実質分では6.0%減）。

今、市は厳しい財政状況にあります。長引く不況の影響などで市税の収入が減っていると同時に、国から交付される地方交付税なども、年々減少しています。

歳入規模に見合った行政運営をするために、市では、職員数を減らしたり、一つひとつの事業の縮小や廃止を行い、無駄を徹底的に省くなど歳出削減に向けた取り組みを行っています。

そのような状況の中でも、将来を見据えて、今後もこの地域で暮らしてい

## 一般会計予算176億円のあらまし

くために、市民生活にとって本当に必要と思われるものについては、前向きにとらえ、予算計上をしました。

その結果、17年度予算では、足りない財源は、市の貯金にあたる基金7億9000万円を取り崩して充てています。

このような経緯で計上された予算ですが、使うときも市職員一人ひとりが、できるだけ無駄を省き、大事に使っていきます。

行政は行政のためではなく、住民のためにあります。だからこそ、皆さんも市が行う仕事に関心を持ち、監視してください。